



前進

第11号

12月2日発行

文責：濱田

育てたい力：共感力・探究力・協働力

◎「学校給食・食育」研究発表会を開催しました。

11月30日(火)に、令和2・3年度熊本県教育委員会指定・公益財団法人熊本県学校給食会委嘱「学校給食・食育」研究指定校研究発表大会を開催しました。当日は来賓14人・一般参加者64人・主催者及び職員38人の総計116人の参加者となりました。

1年1組、3年1組、6年1組で公開授業を行い、本校の子供たちの学ぶ姿をはじめ、学習をとおして「食が人・もの・こと・歴史を結ぶ」ことを実感している様子、食や給食に携わっている方々への感謝の気持ちが育まれている様子等をご覧いただきました。

その後体育館で全体会を行い、研究内容を発表しました。食に関する授業や給食の時間の指導はもとより、保護者にご協力いただいた朝食作ろうデー、弁当作ろうデー、元気アップカードの取組も紹介させていただきました。

参加された先生方からは、「佐敷小でこれまでされてきた指導が、本日の授業の子供たちの気付きや発言などの様子によく表れていたと感じました。」「食育の取組を、学校だけでなく、地域・保護者と一緒に行ったことで子供たちの食への関心を高めることができました」といった感想をいただきました。

令和2年7月豪雨による被災でご苦労が多かった中で、保護者の皆様には本校の取組をご理解いただき、大変感謝しています。子供たちの食習慣が基盤となって、教育活動が充実していることを職員一同実感しています。今後とも、本校の教育活動へのご協力をよろしくお願ひします。また、PTA会長をはじめ、当日の駐車場整理に多



くのPTA会員の方にご協力をいただきました。併せてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

◎集団宿泊教室に行ってきました。

11月12日(金)・13日(土)の2日間、5年生は大野小・吉尾小の友だちと一緒に集団宿泊教室であしきた青少年の家に行ってきました。天気に恵まれ、所内ウォークラリー、マリン活動、キャンドルの集い、ホワイトホビーづくりなど、様々な活動に精一杯取り組みました。



最初は5分前行動や、集団行動に戸惑っていた様子もみられました。しかし時間が経つにつれ、自分たちで声を出し合って行動を促したり、「あとちょっと、頑張ろう。」と励まし合ったりするなど、成長を感じさせる場面が多く見られました。また、代表として多く



の子供が活躍する場も設定されており、自信を深める姿もみられました。2日間でしたが、成長がみられるとともに、来年度の最上級生としての活躍を期待させてくれた5年生でした。

◎あいさつ運動大作戦

企画委員会の取組で、朝から多くの子どもたちが玄関前に並んで、あいさつ運動に取り組んでいます。みんなからのあいさつを一斉に受ける時は緊張しますが、元気のよいあいさつが響き渡る姿は気持ち良いものです。



【校長室から】まだまだ予断は許しませんが、新型コロナウイルスの感染状況も現在のところ落ち着いており、11月は予定通りの学校行事を実施することができました。今回の研究発表も、年度当初は参集型での開催が心配されましたが、子供たちの様子、本校職員の頑張りをお他校の先生方に実際にみていただくよい機会となったと思います。2学期も12月を残すのみとなりました。丁寧に子供たちの見取りを行い、終業式を迎えたいと思います。